

専門発展科目の科目概要(3) -福祉マネジメント領域-

科目区分	科目名	科目概要
福祉 マネジメント 領域	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	本講義は、社会福祉士の法的な位置づけについて理解する。また、ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程、価値規範と倫理について理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①社会福祉士及び介護福祉士法、②ソーシャルワークの基盤と形成過程、③ソーシャルワークの倫理。
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	本講義では、社会福祉士の職域と役割及びソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。また、マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象を理解するとともに、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①社会福祉士の職域、②ソーシャルワーク専門職の概念と範囲、③マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、④総合的かつ包括的な支援と多職種連携。
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	本講義では、人と環境との交互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解するとともに、様々な実践モデルとアプローチについて理解する。また、ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術を修得する。具体的には、次のことを学び、修得する。①人と環境との交互作用に関する理論、②マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク、③実践モデルとアプローチ、④ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術。
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	本講義では、ケアマネジメントとグループワーク、コミュニティワークの意義・原則・目的について理解する。また、スーパービジョンとコンサルテーションの意義と目的・方法について理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①ケアマネジメント、②グループワーク、③コミュニティワーク、④スーパービジョン、⑤コンサルテーション。
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	本講義では、社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。また、支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①ソーシャルワークにおける援助関係の形成、②ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発、③ネットワークの形成。
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	本講義では、個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①ソーシャルワークに関連する方法、②カンファレンス、事例分析、③ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援。
	社会福祉概論Ⅱ	本講義では、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解するとともに、関連政策や包括的支援について理解する。また、福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①ニーズと福祉政策、②福祉サービスの供給と利用の過程。
	地域福祉論Ⅱ	本講義では、包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解する。また、地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士の役割を理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①地域社会における地域生活課題、②多職種及び多機関協働、③包括的支援体制。
	刑事司法と福祉	本講義では、刑事司法の動向と制度の仕組みを理解するとともに、刑事司法の制度に関わる関係機関等の役割について理解する。また、刑事司法における社会福祉士の役割について理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①刑事司法の動向と制度の仕組み、②刑事司法の制度に関わる関係機関、③刑事司法における社会福祉士の役割。
	社会福祉施設運営論	本講義では、福祉サービスを提供する組織や団体の概要、福祉サービスの組織の沿革、経営の視点と方法について理解する。また、福祉サービスにおける組織と運営に係る基礎理論、福祉サービスに求められる福祉人材マネジメントについて理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①福祉サービスの組織、②福祉サービスの組織の経営、③福祉人材マネジメント。
	社会保障論Ⅰ	本講義では、社会保障の概念や対象及びその理念と現代社会における社会保障制度の役割・意義・課題・財政について理解する。また、諸外国における社会保障制度の概要を理解することをねらいとする。具体的には、次のことを学び、修得する。①現代社会における社会保障制度の現状、②社会保障の概念や対象及びその理念、③社会保障と財政、④諸外国における社会保障制度の概要。
	社会保障論Ⅱ	本講義では、公的保険制度と民間保険制度の関係を理解するとともに、社会保障制度の体系（医療保険・介護保険・年金保険・労災保険・生活保護・社会手当）を理解することをねらいとする。具体的には、次のことを学び、修得する。①社会保険と社会扶助の関係、②公的保険制度と民間保険制度の関係、③社会保障制度の体系。
	公的扶助論	本講義では、貧困や公的扶助の概念を踏まえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解するとともに、貧困に係る法制度と支援の仕組みについて理解する。また、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、②貧困に係る法制度と支援の仕組み、③貧困による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方。

権利擁護と成年後見制度

本講義では、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解し、権利擁護の意義と支える仕組みについて理解する。また、ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解する。具体的には、次のことを学び、修得する。①権利擁護を支える憲法、民法、行政法、②権利擁護の意義と支える仕組み、③ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度。